Blackstar
AMPLIFICATION

ID:X FLOOR

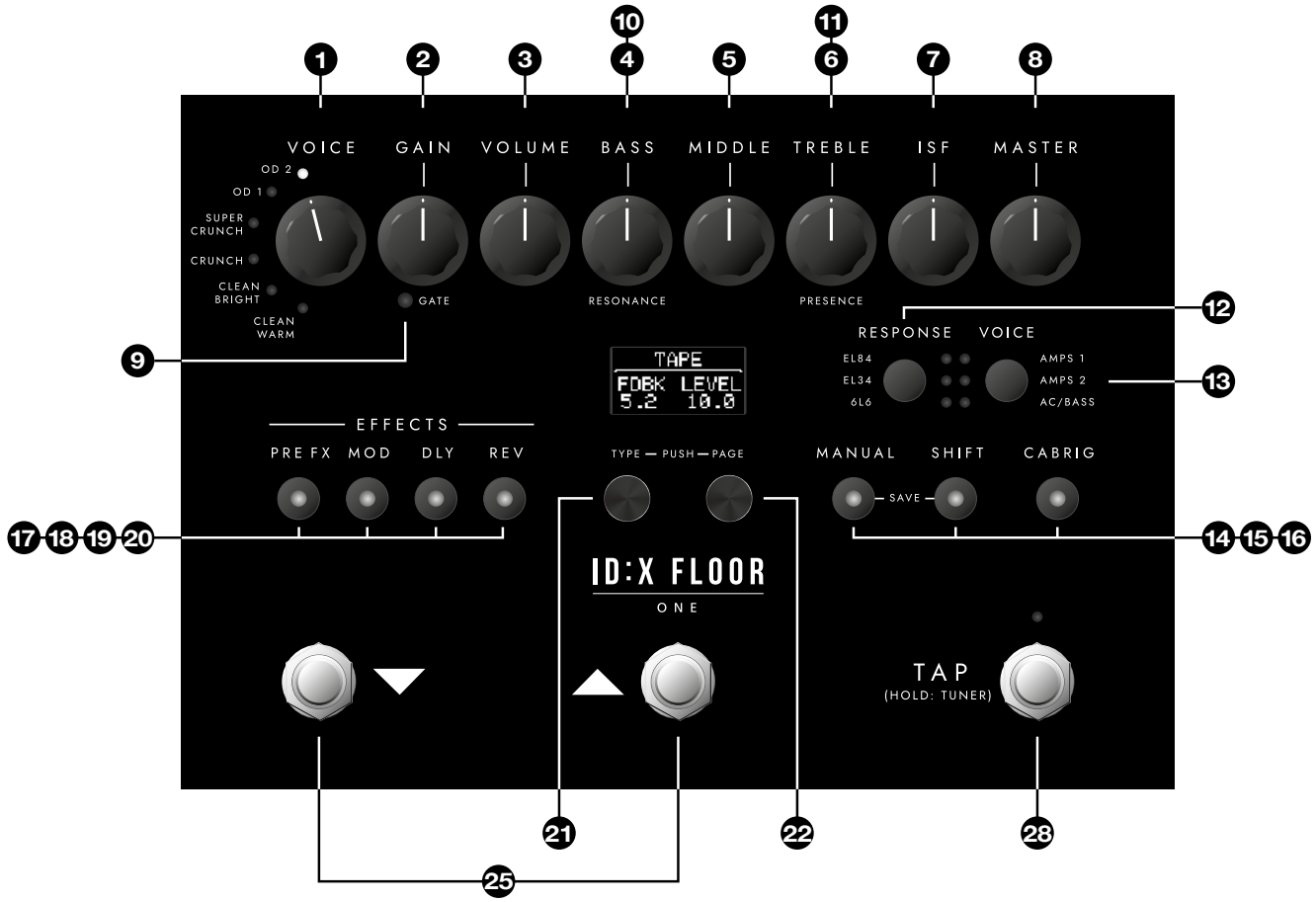
ID:X FLOOR ONE, ID:X FLOOR TWO, ID:X FLOOR THREE

オーナーズマニュアル

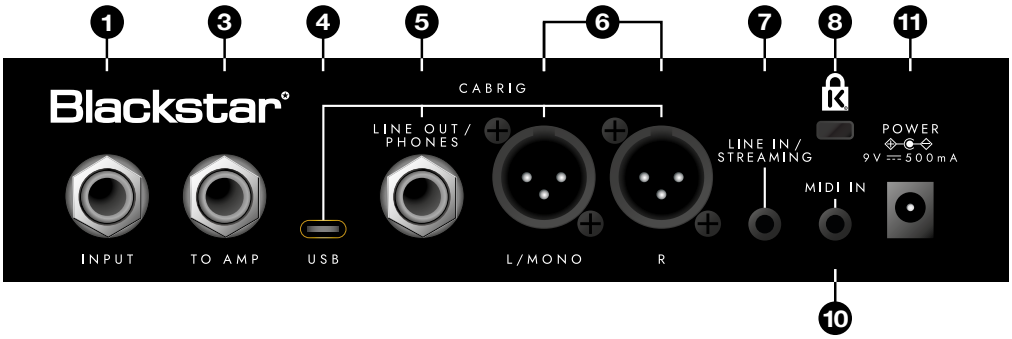
the sound in your head

Designed and Engineered by
Blackstar Amplification UK

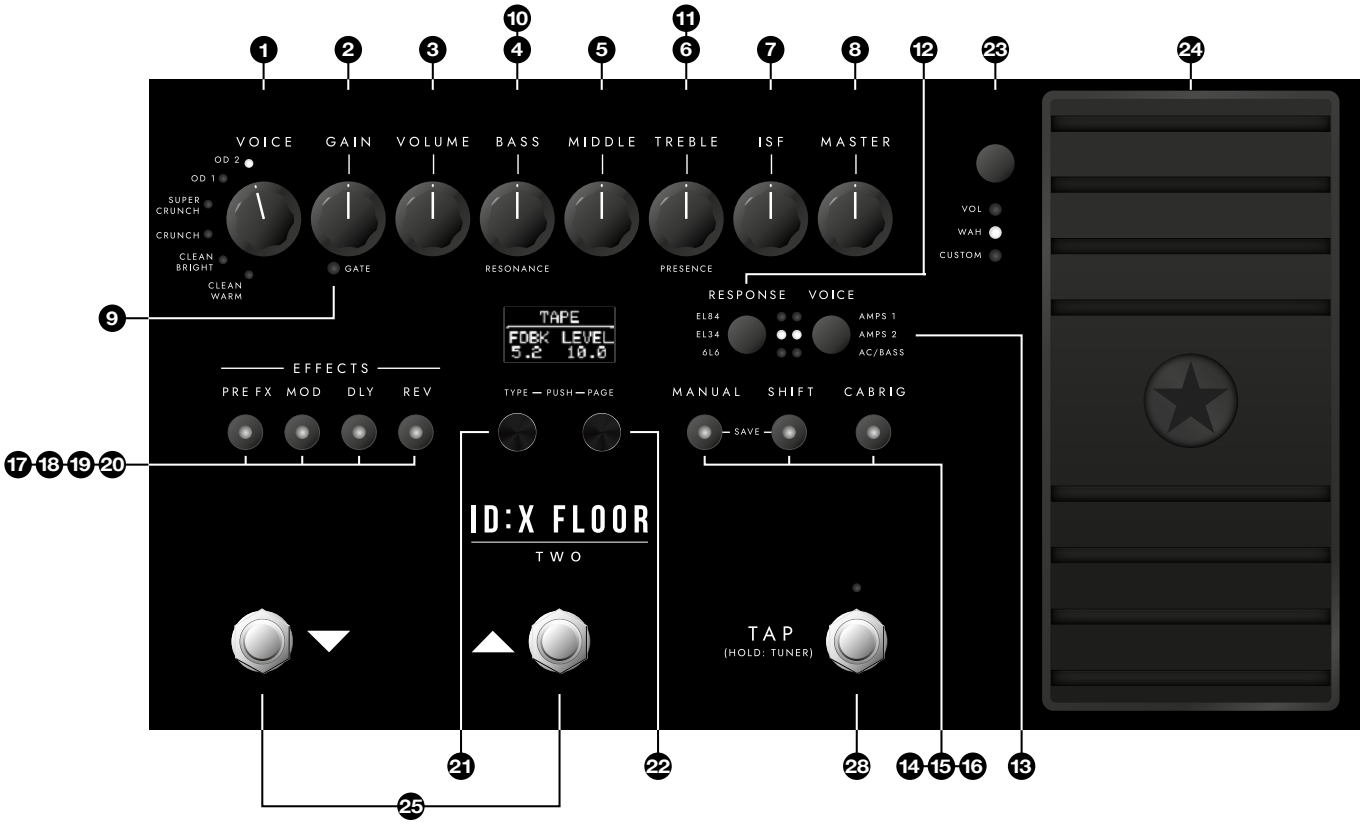
ID:X FLOOR ONE - トップパネル



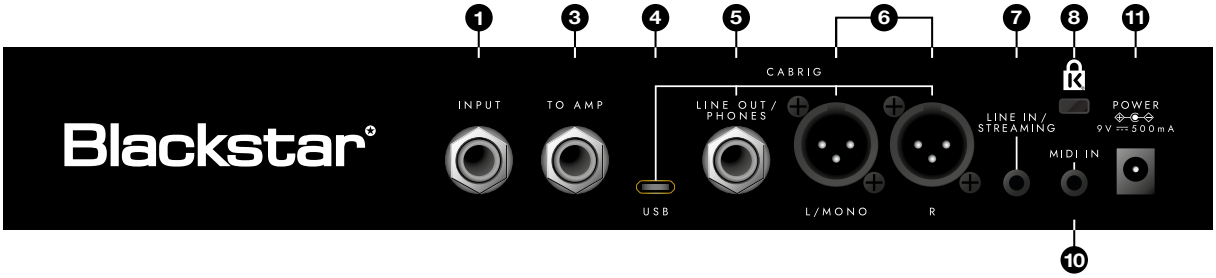
ID:X FLOOR ONE - 背面パネル



ID:X FLOOR TWO - トップパネル



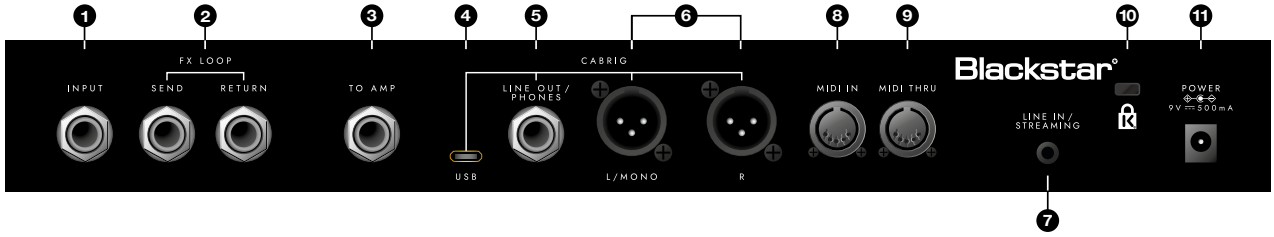
ID:X FLOOR TWO - 背面パネル



ID:X FLOOR THREE - トップパネル

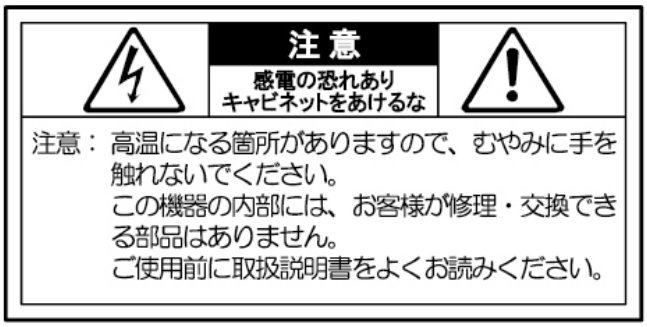


ID:X FLOOR THREE - 背面パネル



安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」を良くお読みの上、正しくお使いください。
●お読みになったあとは、必ず保管してください。
●機器本体に表示・貼付されているマークには、次のような意味があります。





このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは、注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。

電源電圧について

表示された電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

分解・改造について

この機器を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部にはお客様が修理・交換できる部品はありませんので、修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

温度について

この機器は正常に動作しているときでも、真空管、放熱板、及び各種トランスの表面は高温になります。この機器の使用中と、電源を切ってから30分以内は、火傷の恐れがあるので、開口部よりキャビネットの中に手を入れないでください。

液体・異物について

この機器、もしくはキャビネットの中に、付属品以外の機器、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や、液体（水やジュースなど）を絶対に入れたり、こぼしたりしないでください。また、この機器の上に飲物を置くのもやめてください。万一、異物が入ったり、液体がこぼれたときは、直ちに電源スイッチを切り、電源コードなどを取り外し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

電源コードの取り扱いについて

電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。電源コードに傷がつきますし、電源コードやプラグが破損して火災、感電の原因になります。

雷について

雷が発生して、雷鳴が聞こえるときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。直接の落雷でなくとも、近距離に落雷があったときは、コンセントに高電圧が発生し、感電する危険があります。

音量について

この機器を単独で、あるいはヘッドフォン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快なほどの音量で、長時間使用しないでください。
万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。

開口部・ファンについて

この機器のすべての開口部をカーテンや幕、その他の物体で塞がないでください。放熱が正常にできなくなり、発熱、火災の原因になります。また、放熱ファンにひも、電線、針金などを近づけないでください。もしこれらのものがファンに入ると、ファンの回転で引き込まれ重大な事故の原因となります。

使用場所・保存について

次のような場所での使用や保存はしないでください。火災・感電の原因となります。

- ●温度が極端に高い場所。（直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、発熱する機器の上など）
- ●水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所。
- ●ホコリの多い場所。
- ●振動の多い場所。
- ●雨天の野外。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容を表示しています。

電源コード・電源プラグについて

- ◆電源コードを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って行ってください。
  コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ◆濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電することがあり、危険です。
- ◆長時間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外してください。

修理について

修理に出される場合、記憶した内容が失われる場合があります。必要な記憶内容はメモなどに保管しておいてください。消失した記憶内容に関しましては、修復、補償も含めて、ご容赦願います。

ヒューズ交換について

※外にヒューズホルダーが取り付けられている機種でヒューズが切れた場合、交換せずにそのままお買い上げの販売店に修理を依頼してください。ヒューズが切れた原因は内部の故障にありますので、故障を直さずに再び電源を入れるのは、火災の原因となり危険です。

取り扱いについてのご注意

本機は精密機器です。以下の注意事項を守って大事にお取り扱いください。

- ●湿気、雨または水、直射日光にさらしたり、非常に高温になる場所には設置しないでください。
- ●アンプが正しくグランドに接地されていることを常に確認してください。
- ●ヒューズや真空管を交換する前には、必ずACコードを抜いてください。
- ●熱くなった真空管には直接触れないでください。
- ●アンプの背面は、換気ができるように十分な空間を確保してください。
- ●アンプは小さなお子様の手の届かない場所に設置してください。
- ●AC電源は、必ず機器の裏側に記されている電源の規格に従って接続してください。
- ●落雷の危険がある場合は、コンセントからプラグを抜いてください。
- ●結露の恐れがある場合は、本機が環境温度になってから電源を入れてください。
- ●スピーカーと他の再生機器の損傷を防ぐために、機器の接続を行う前は電源を切っておいてください。
- ●スイッチやキーに過度の力を加えることはおやめください。
- ●本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- ●本機を掃除する場合、外面を柔らかいクロスで拭いてください。
  ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用することは絶対におやめください。

■本機は大音量を発します。
■ボリュームを上げた状態で聴き続けると、聴力を永久に失う恐れがあります。

■内部にはユーザーが交換可能なパーツはありません。
■修理は有資格の技術者にご相談ください。
■シャーシを取り外す前に、必ずAC電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
■必ず正しい電圧(100V)でご使用ください。

内容

上部パネルと背面パネル 2 - 4

警告 5 - 6

はじめに 8
特長 9

トップパネル 10
VOICE セレクター 10
コントロールノブ 10
Gain 10
Volume 10
Bass 10
Middle 11
Treble 11
ISF 11
Master 11
GATE（シフト機能） 11
Resonance（シフト機能） 11
Presence（シフト機能） 12
Response 12
Voice Mode 12
Manual Mode 12
Shift 12

音声選択表 13

CABRIG — シミュレーテッド・アウトプット 13
CabRig 設定の編集方法 14
CabRig Parameters 14

エフェクト（EFFECTS） 15
Pre FX 15
Modulation 15
Delay 15
Reverb 15
Type 15
Page 15
Expression Pedal 15

Footswitches 16
PATCH UP / DOWN（ID:X Floor One & Two のみ） 16
CH1 | CH2 | CH3（ID:X Floor Three のみ） 16
EFFECT フットスイッチ（ID:X Floor Three のみ） 16

Tuner 16
チューナーの使い方 16, 24
チューナーを終了する方法 16, 24

リアパネル 16
¼インチ INPUT ジャック 16
Effects Loop (ID:X FLOOR Three only) 16
Effects Loop Send 16
Effects Loop Return 16
'To Amp' Output 17

USB 17
USB オーディオ出力（デバイス → コンピューター） 17

¼" Stereo Headphone/Line Output 18
XLR 出力 18
Line In / Streaming 18
MIDI In 18
MIDI Thru（ID:X Floor Three のみ） 18
ケンジントン・ロック 18

エフェクト・ブロック（Effect Blocks） 19
エフェクトのナビゲーションと選択 19
FX ブロックのフォーカス 20
ディレイ・タイム表示 20
TAP ボタン 20
ディレイ・トレイル／リバーブ・テイル 20

エクスプレッション・ペダル 21
Custom 割り当て 21
キャリブレーション 21

パッチ（PATCHES） 22
パッチの移動方法 22
パッチの保存方法 22
パッチ・リコールおよびリコール・ディスタンス・リング 23
マニュアル・モード（Manual Mode） 23

ファクトリー・リセット 24

MIDI コントロール 24

MIDI 機能一覧表 25 - 26

エフェクトの説明表 27 - 29

技術仕様 30

はじめに

このたびは、Blackstar ID:X Floorをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、他のすべての Blackstar 製品と同様、世界最高水準の設計チームによる、長時間にわたる綿密な研究開発の成果として誕生しました。英国ノーサンプトンを拠点とする Blackstar チームは、全員が経験豊富なミュージシャンであり、開発プロセスの唯一の目的は、ギタリストの自己表現を最大限に引き出す究極のツールを提供することです。

すべての Blackstar 製品は、信頼性・品質、そして何よりも トーン において一切の妥協がないことを保証するため、徹底したラボテストおよび実地テストを実施しています。

本ハンドブックをよくお読みいただき、新しい Blackstar 製品の性能を最大限にご活用ください。
また、本製品を気に入っていただき、Blackstar 製品ラインアップについてさらに詳しくお知りになりたい場合は、下記ウェブサイトをご覧ください。

http://www.blackstaramps.com

今後とも Blackstar 製品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Blackstar チーム一同

特長

ID:X Floor アンプ・モデラーは、ギタリストの進化し続けるニーズに応えるべく、長年にわたる研究開発の成果として誕生しました。2007年以降に培ってきた Blackstar の革新の系譜を受け継ぎ、ID:X Floor シリーズは、最先端のデジタル・シグナル・プロセッシング、真空管アンプさながらのレスポンス、緻密なエフェクト・コントロール、そして高い操作性を融合しています。
ライブパフォーマンスとスタジオクオリティの機能をシームレスに統合した ID:X Floor シリーズは、そのクラスにおけるアンプ・モデラーの新たな基準を打ち立てます。あらゆるレベルのミュージシャンのために設計された本製品は、以下の特長を備えています。

- クリーンからハイゲインまでを網羅する 12種類の多彩なギターアンプ・ボイス（Blackstar オリジナル6種＋Ampton Series 6種。往年の名機をコンポーネント・レベルで精密に再現）
- ビンテージの温かみからモダンで力強いサウンドまで対応する 3種類の強化されたベースアンプ・ボイス
- 3種類のアコースティック・ボイス（高精度なアコースティック・シミュレーターを含む）アコースティックギター用ピックアップはもちろん、エレキギターをダイナミックなアコースティックサウンドへ変換可能
- 特許技術 True Valve Power（TVP）に基づく真空管レスポンス・エミュレーション EL84、EL34、6L6 各パワー管のトーナルキャラクターを再現
- 30種類以上のスタジオクオリティ・エフェクト（Pre FX、モジュレーション、ディレイ、リバーブ）
- 演奏をクリアに保つ 内蔵ノイズゲート
- ライブ演奏時の素早い音色切り替えを可能にする 99のパッチメモリー
- エフェクト調整、パッチ選択、編集時にリアルタイム表示が可能な 高輝度 OLED ディスプレイ
- 高度な IR ベースのスピーカー／マイク・エミュレーションを備えた CabRig レコーディング・インターフェース、ヘッドホン、PA へ直接、リアルなサウンドを出力
- USB オーディオ、ライン入力、ヘッドホン出力、MIDI を搭載し、あらゆるシステムに柔軟に統合可能
- ペダルボード構成を最大限に活かす ハードウェア・エフェクトループ ID:X Floor Three のみ）
- 利便性の高い 高精度クロマチック・チューナー を本体に内蔵
- より深いカスタマイズと簡単なファームウェア更新を可能にする 無償の Architect ソフトウェア
- 次世代のパッチ共有プラットフォーム Architect Community 2.0

トップパネル

1. VOICE セレクター

選択されている Voice Mode（13）に応じて、ギターアンプ、アコースティック、またはベースアンプの各ボイスを選択します。
利用可能なすべてのボイスの詳細については、14 の「Voice Selection Table」をご参照ください。
本設定は、パッチを保存すると記憶されます。

コントロールノブ
各コントロールノブの現在位置は、OLED ディスプレイ上に視覚的に表示されます。リコール位置が表示される場合もあります。

詳細については、22 の「Patch Recall & Recall Distance Ring」をご参照ください。

2. GAIN

Amps 1、Amps 2、および Bass ボイスの場合

プリアンプのオーバードライブ／ディストーション量を調整します。

低い設定（反時計回り）ではクリーンなサウンドとなり、時計回りに回すにつれて歪みが増加し、最大位置で最大のディストーションが得られます。

Acoustic ボイスの場合

クリーンな入力プリアンプの信号レベルを調整します。設定を高くしても、プリアンプのサチュレーションは発生しません。

GAIN の設定は、パッチ保存時に記憶されます。

3. VOLUME

Amps 1、Amps 2、および Bass ボイスの場合

プリアンプ出力の音量レベルを調整します。時計回りに回すと音量が増加します。
VOLUME を高く設定すると、選択している Response（12）に応じた、真空管パワーアンプ特有の歪みやコンプレッション効果が加わります。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

Acoustic ボイスの場合

プリアンプ全体の出力レベルを調整します。高い設定でもサチュレーションは発生しません。

トーンスタック
ID:X Floor シリーズは、実機に忠実なトーンスタック・モデリングを採用しています。
EQ コントロールは実際のアナログアンプと同様の挙動を示すトーナルネットワークとなっており、自然で反応の良いトーンコントロールを実現します。

4. BASS

低域成分のレベルを調整します。
すべての EQ コントロールは、選択されているボイスに合わせて最適化されています。
例えば、St. James 6L6（Clean Warm）は低域が豊かである一方、Artisan 30（Clean Bright）はよりタイトな低域レスポンスとなります。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

5. MIDDLE

中域成分のレベルを調整します。
中域は音の「太さ」や存在感を決定づける重要な要素です。
最小位置（反時計回り）では中域がスクープされ、時計回りに上げるにつれて音のボディ感が増します。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

6. TREBLE

高域成分のレベルを調整します。
低い設定では暖かくダークな音色となり、時計回りに回すにつれて、より明るいサウンドになります。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

7. ISF（Amps 1 ボイスのみ）

特許技術である ISF コントロールは、Bass、Middle、Treble と連動して動作し、好みのトーナルキャラクターを選択できます。
反時計回りではタイトな低域とアグレッシブな中域を持つアメリカンな特性となり、時計回りではウッディでマイルドなブリティッシュ特性となります。
一般的なコンターコントロールやパラメトリック EQ とは異なり、Bass、Middle、Treble は従来のギターアンプ同様、相互に影響し合います。これにより、非常に音楽的で自然なレスポンスが得られます。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。



ヒント： ISF を中央位置に設定し、Bass、Middle、Treble を好みに合わせて調整した後、ISF を徐々に左右に動かして理想のサウンドを探してみてください。

注記： Bass および Acoustic ボイスでは、ISF は 周波数（FREQ）選択コントロールとして機能します。Middle（5）で調整される中域の中心周波数を選択できます。

8. MASTER

本体の ¼インチ出力および XLR 出力の全体音量を調整します。
時計回りに回すと音量が増加します。
本設定はグローバル設定であり、パッチ保存時には記憶されません。

9. GATE（シフト機能）

内蔵ノイズゲートは、不要なハムやヒスノイズを低減します。
SHIFT（15）を押しながら Gain を調整することで、ゲートのスレッショルドを設定します。
低い設定ではサステインを多く保持し、高い設定ではノイズをより強くカットし、ハイゲイン時にタイトなサウンドが得られます。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

10. RESONANCE（シフト機能／Amps 1 & 2 のみ）

選択している Response（12） の低域キャラクターを調整します。
低い設定ではタイトで引き締まった低音に、高い設定では厚みと迫力のある低音になります。
SHIFT（15）を押しながら Bass（4）を調整することでアクセスできます。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

11. PRESENCE (Shift control) (Amps 1 & 2 only)

選択している Response（12） の高域キャラクターを設定します。
低い設定では滑らかでダークな音色に、高い設定では明瞭さと抜けの良さが加わります。
SHIFT（15）を押しながら Treble（6）を調整することでアクセスできます。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

12. RESPONSE（Amps 1、Amps 2、Bass のみ）

3 段階スイッチにより、異なる真空管パワーアンプの特性をエミュレートし、全体のフィーリングやニュアンスに影響を与えます。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

Amps 1 & 2:

- **EL84：**明るく、バランスの取れた低域、ヴィンテージ感のあるフィーリング
- **EL34：**豊かな中域と温かみ、ダイナミックなサチュレーション
- **6L6：**深い低域とクリアな高域を備えた力強いサウンド、高いヘッドルーム

Bass:

- **LINEAR：**クリーンで色付けのないサウンド。フルレンジで透明感のあるトーンに最適
- **6550：**タイトな低域と滑らかな高域を備えた、パンチのある力強いサウンド
- **6L6：**丸みのある温かい音色と、クラシックな低中域のグロウル、コントロールされた高域

13. VOICE MODE

Voice Mode では、3つのアンプボイス・グループを切り替えることができます。

- Amps 1：クリーンからハイゲインまでの Blackstar シグネチャーサウンド
- Amps 2：Blackstar の AMPTON モデルによって再構築された伝説的トーン
- Acoustic / Bass：2 種類のリッチなアコースティック・ボイス、リアルなアコースティック・シミュレーター、3 種類のパワフルなベースアンプ

Voice Mode ボタンを押すごとに切り替わり、LED で現在のグループが表示されます。その後、Voice ノブで各グループ内の 6 種類のボイスを選択します。
本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

14. MANUAL MODE

- マニュアルモード（「見たままの音」）を有効にします。 現在のノブ位置が、そのままサウンドに反映されます。

- マニュアルモードへ切り替える際、オンになっているエフェクトは一旦オフとなり、リセットされます。 マニュアルモード中でも、Architect ソフトウェアや MIDI などの外部ソースから各パラメータを変更することは可能ですが、その場合、フロントパネル上のノブ位置と実際のサウンドは一致しなくなります。

15. SHIFT

「SHIFTを1回押す事で、シフトモードに入りGate（9）、Resonance（10）、Presence（11）などのパラメーターを操作することが出来ます。再度SHIFTを押す事で、シフトモードを解除できます」

音声選択	Amps 1	Amps 2	Ac / Bass
Clean Warm	ST JAMES 6L6滑らかで開放的なクリーンサウンド。豊かな低域とダイナミクスを備える。	AMPTON TWIN 1969年製ツインリバーブ®AB763回路をエミュレート。深みのある低域と輝く高域を備えた象徴的なクリーン・トーン。	ACOUSTIC 1 クリアな高域を備えた自然でバランスの取れたアコースティック・トーン。
Clean Bright	ARTISAN 30 チャイミーでクリア、自然で表現豊かなブレイクアップ。	AMPTON ACE30 希少なシリアルナンバーなしVox® AC30手配線試作ヘッドモデルをエミュレート。明るくジャングリーな音色と滑らかでダイナミックなブレイクアップ。	ACOUSTIC 2 ライブやスタジオ向けの明るく詳細なアコースティック・ヴォイシング。
Crunch	ST JAMES EL34 エッジの効いたビンテージスタイルのドライブとパンチの効いた中域。	AMPTON PLEXI 1960年代後半のマーシャル® スーパーリード(1959年製)「プレクシー」をエミュレート。温かみのあるダイナミックなクランチ、力強い中域、クラシックロックの切れ味。	ACOUSTIC SIM エレキギターをアコースティックギターのように鳴らす。
Super Crunch	HT CLUB 50 厚みのあるパワフルなオーバードライブ、タイトなアタック。	AMPTON 800 創設者イアン・ロビンソン所有のヴィンテージMarshall® JCM800 2203モデルをエミュレート。象徴的なエッジの効いた集中したゲイン、高速レスポンスと切れ味。	BASS CLASSIC 温かみのあるビンテージ風トーン。プッシュすると荒々しい質感を発する。
OD1	SERIES ONE 100 中域の温かさと歌い上げるサステインを備えた飽和したハイゲイン。	AMPTON REC オリジナルMesa Boogie® Dual Rectifierの「レッドチャンネル」をエミュレート。タイトなパンチと巨大なサステインを備えた重厚で攻撃的なトーン。	BASS MODERN 現代的なベーススタイルに最適なパンチのあるクリアで精密なトーン。OD2
OD2	ST JAMES 100 圧倒的な歪みと攻撃的な低域、タイトなレスポンス。	AMPTON 6L6 1992年製「ブロックレター」ピーヴィー® 5150をエミュレート。現代的なスコープド・ハイゲイン、タイトな低域、高揚感のあるリード。	BASS FLAT 透明感に優れたクリーンでニュートラルなトーン。パンチが効き、クリアで精密な現代的なベーススタイルに最適。

CABRIG — シミュレーテッド・アウトプット

CabRig は、Blackstar が開発した 次世代の高精度 IR ベース・キャビネット+マイク・シミュレーションです。
フィーリングおよびレスポンスの大幅な向上に加え、独自の In The Room™ アルゴリズムを搭載することで、ID:X Floor は箱出しの状態から直感的に優れたトーンを提供します。
ITR™(In The Room™) は、単にマイクで収音したキャビネットの音を再現するのではなく、実際の空間で本物のアンプを鳴らしているかのような演奏感を実現する、Blackstar 独自のスピーカー・エミュレーション技術です。
ステージ上でも、ヘッドホン使用時でも、より没入感があり、自然なサウンド体験を提供します。

16. CABRIG

CABRIG スイッチを押すことで CABRIG が選択され、設定内容がディスプレイに表示されます。
これらの設定は、パッチを保存すると記憶されます。

CabRig 設定の編集方法

ID:X のディスプレイ部には、2つのプッシュ式エンコーダー Type（21）と Page（22）が搭載されています。
どちらも回転させることでパラメータを調整できますが、押した際の機能が異なります。

Type

- Type を押す：異なるキャビネット・タイプを表示
- Type を回す：キャビネット・タイプをスクロールし、試聴
- 再度 Type を押す：パラメータ画面に戻る

Page

- Page を押す：追加のキャビネット・パラメータを表示（対応している場合）
- 再度 Page を押す：前のパラメータ画面に戻る

CabRig Parameters:

Amps 1 & 2

Cab Type	Microphones	Room Level	Room Size	Room Width
DI St. James 112 HT Venue 112 St. James 212 VOC Artisan 212 Artisan 412A Series One Pro 412B	ITR™ Dynamic 57 Condenser 67 Ribbon 121	0–10	Small Medium Large	Close Spaced Wide

Acoustic

Cab Type	Microphones	Room Level	Room Size	Room Width
DI DI + ROOM	--	0–10	Small Medium Large	Close Spaced Wide

Bass

Cab Type	Microphones	Room Level	Room Size	Room Width
Unity Elite 210C Unity Elite 410C	--	0–10	Small Medium Large	Close Spaced Wide

CabRig スイッチを長押しすると、2 種類の CabRig モードを切り替えることができます。

- Patch　- パッチに保存されている CabRig 設定を読み込みます。
- Global -　パッチを切り替えても共通の CabRig 設定を使用します。気に入った CabRig 設定を常に一定に保ちたい場合に便利です。

注記： マニュアルモード（14）では、CabRig モードは常に Global に固定されます。

エフェクト(EFFECTS)

エフェクト機能の詳細については、19 ページをご参照ください。

17. PRE FX

本スイッチを押すことで、Pre FX エフェクトの オン／オフ、または 編集対象として選択(フォーカス)します。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

18. MOD

本スイッチを押すことで、モジュレーション・エフェクトの オン／オフ、または 編集対象として選択(フォーカス) します。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

19. DLY

本スイッチを押すことで、ディレイ・エフェクトの オン／オフ、または 編集対象として選択(フォーカス)します。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

20. REV

本スイッチを押すことで、リバーブ・エフェクトの オン／オフ、または 編集対象として選択(フォーカス)します。本設定は、パッチ保存時に記憶されます。

21. TYPE

押すと、現在フォーカスされている エフェクト／Cab タイプの一覧を表示します。
タイプ一覧が表示されている状態では、エンコーダーを回してタイプを切り替えます。
エフェクト／Cab のパラメータ画面が表示されている場合は、エンコーダーを回してパラメータ値を調整します。

22. PAGE

押すと、次のパラメータページを表示します。
エンコーダーを回すことで、各パラメータの値を調整できます。

エクスプレッション・ペダル(ID:X Floor Two および Three のみ)

23. EXP MODE (VOL / WAH / CUSTOM)

エクスプレッション・ペダルの動作モードを、以下の 3 種類から切り替えます。

VOL: ボリューム・ペダル

WAH: ワウ・ペダル

CUSTOM: 任意に割り当てたアンプまたはエフェクトのパラメータ

エクスプレッション・ペダルの詳細については、21 ページをご参照ください。

24. EXPRESSION PEDAL

スイッチで選択したモードに応じて、足元でトーンをコントロールします。演奏中に手を使わず操作できるため、非常に効果的です。詳細については、21 ページをご参照ください。

フットスイッチ(FOOTSWITCHES)

25. PATCH UP / DOWN(ID:X Floor One & Two のみ

パッチ 01-1 ～ 33-3 を上下に切り替えます。
いずれかのボタンを押し続けると、より高速にスクロールします。

26. CH1 | CH2 | CH3(ID:X Floor Three のみ)

現在のバンク内にある 3 つのパッチを選択します。

■ CH1 + CH2 同時押し:下のバンクを選択

■ CH2 + CH3 同時押し:上のバンクを選択

パッチの詳細については、22 ページをご参照ください。

27. EFFECT フットスイッチ(ID:X Floor Three のみ)

フットスイッチ操作により、各エフェクトのオン／オフを切り替えます。
エフェクトを有効にすると、そのエフェクトが編集対象としてフォーカスされます。
MODULATION、DELAY、または REVERB の各フットスイッチを押し続けることで、特定のエフェクト・パラメータを一時的に増加させることができます。
スイッチを離すと、元の設定に戻ります。

28. TAP(長押し:TUNER)

一定のリズムで TAP を押すことで、フォーカスされている DLY または MOD に応じて、ディレイタイムまたはモジュレーション速度をタップ入力により設定します。
エフェクト・フォーカスの詳細については、20 ページをご参照ください。

注記: モジュレーションおよびディレイ・エフェクトは、それぞれ独立したタップ値を持っています。

TAP を長押しするとチューナーモードに入ります。
チューナーモードを終了するには、TAP または他のいずれかのスイッチを押してください。
初期設定では、チューナーモード中は音声出力がミュートされます。
この設定は Architect ソフトウェアにて変更可能です。

リアパネル

1. ¼インチ INPUT ジャック

ギター、ベース、またはアコースティックギターを接続します。

2. FX LOOP(ID:X Floor Three のみ)

EFFECTS LOOP SEND

外部エフェクト機器のモノラル入力へ接続します。
エフェクトループ・センドは、PRE FX の後段、かつ パワーアンプ段[Volume(3)、Resonance(10)、Presence(11)、Response(12)]および MOD、DLY、REV エフェクトの前段から出力されます。

EFFECTS LOOP RETURN

外部エフェクト機器のモノラル出力を接続します。

3. 'TO AMP' OUTPUT

TO AMP 出力は、CabRig をバイパスした信号を出力し、外部パワーアンプおよび実際のギターキャビネットと組み合わせて使用するための出力です。
これにより、ステージ上では外部パワーアンプとトラディショナルなキャビネットを使用しつつ、同時にミキサーやヘッドホンへ CabRig を適用したフル信号を送ることが可能です

注記： ID:X Floor には 内蔵パワーアンプは搭載されていません。本出力をギターキャビネットへ直接接続しても音は出力されません。

また、CabRig がバイパスされているため、本出力を FRFR（フルレンジ・フラットレスポンス）スピーカー、ミキサー、PA システムへ接続すると、正しいサウンドは得られません。

4. USB

標準的な USB-C ケーブルを使用して、PC、Mac、または対応するレコーディング機器へ直接接続します。
USB デジタルオーディオ機能および、Blackstar の Architect ソフトウェアとの接続が可能です。

注記： Windows をご利用の場合は、オーディオドライバーのインストールが必要です。
ドライバーは、Blackstar アカウントの製品ダウンロードページより入手できます。
製品登録および各種情報は、以下の URL よりご確認ください。 blackstaramps.com

USB オーディオ出力（デバイス → コンピューター）

以下の 4 チャンネルがデバイスからコンピューターへ送信され、DAW や録音ソフト上では「入力」として認識されます。

- **Input 1 – CabRig L：**すべてのエフェクトおよび CabRig を含む、完全に処理されたギター音（左チャンネル）
- **Input 2 – CabRig R：**上記と同様の信号（右チャンネル）
- **Input 3 – Dry Guitar：**未処理のダイレクト・ギター入力。リアンプに最適。アンプ設定の影響を受けません
- **Input 4 – Preamp Out：**プリアンプ・ボイスおよび EQ のみ（パワーアンプ特性、MOD／DLY／REV、CabRig なし）。外部プラグイン使用に最適

ヒント： 真のステレオサウンドを得るには、DAW 上で Input 1 を左、Input 2 を右に完全にパンしてください。

USB オーディオ入力（コンピューター → デバイス）

コンピューターからのオーディオを本体で再生することも可能です。

- **Channel 1 – Left：コンピューター音声のモニター／再生用**
- **Channel 2 – Right：コンピューター音声のモニター／再生用**

これにより、ID:X Floor でギターを演奏しながら、コンピューターの動画や音楽を同時に再生できます。

5. ¼インチ ステレオ・ヘッドホン／ライン出力

ヘッドホンを接続するか、標準の ¼ インチ TS または TRS ケーブルを使用して、FRFR スピーカーキャビネット、レコーディング機器、またはミキシングデスクへ接続します。
ヘッドホン使用時は、必ず安全な音量でご使用ください。長時間にわたる大音量での使用は、恒久的な聴覚障害を引き起こす恐れがあります。

6. XLR 出力

標準の 3 ピン XLR ケーブルを使用して、レコーディング機器、ステージボックス、またはミキシングデスクへ接続します。
低ノイズ・低インピーダンスの信号を出力し、ライブおよびスタジオ用途の双方で高音質を実現します。
ステレオ使用時は両方の出力を、モノラル使用時は L／Mono 出力のみを使用してください。

7. LINE IN/STREAMING

標準の 3.5mm AUX ケーブルを使用して、スマートフォン、タブレット、またはオーディオプレーヤーを接続し、音楽やバッキングトラックを再生できます。
ヘッドホンと併用することで、ジャムセッションやサイレント練習に最適です。
また、TRRS ケーブルを使用することで、スマートフォンへ直接サウンドを録音することも可能です。

8. MIDI IN

MIDI メッセージを ID:X Floor に送信する際に使用します。

MIDI の詳細については、24 ページをご参照ください。

9. MIDI THRU（ID:X Floor Three のみ）

MIDI IN 端子で受信した MIDI メッセージを、そのまま変更せずに出力します。

複数の MIDI 機器をデイジーチェーン接続する際に使用します。

詳細は、24 ページをご参照ください。

10. ケンジントン・ロック

Kensington Security Slot（K-Slot）とも呼ばれる盗難防止用スロットです。

対応するケンジントン・ロックを使用し、ID:X Floor を固定物に施錠できます。

詳細は以下をご参照ください。http://www.kensington.com

11. POWER

付属の 9V 電源アダプターを接続します。

ID:X Floor は、9V DC／500mA／センターマイナス仕様の、標準バレルコネクター電源を必要とします。

注記： 電源入力には、リアパネルに記載された電圧および消費電力に適合した電源アダプターのみを使用してください。

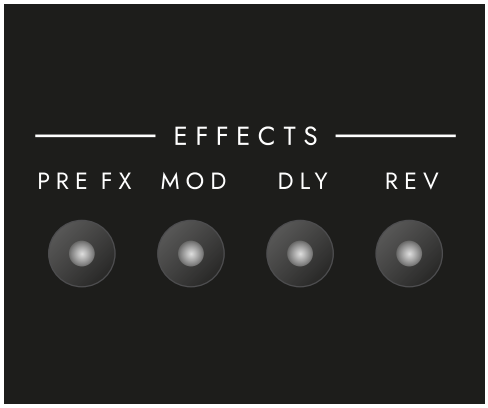
不明な点がある場合は、資格を有する技術者へご相談ください。

エフェクト(EFFECTS)

ID:X Floor シリーズは、世界的に有名な数々の名機エフェクトの本質を捉えると同時に、他では得られない独自のサウンドも備えた、次世代の高性能 FX エンジンを搭載しています。

クラシックなアナログ・スタイルのディレイやオーバードライブから、豊かで広がりのあるモジュレーション、アンビエントなリバーブに至るまで、すべてのエフェクトは高度な DSP 技術を用いて忠実に設計されており、本物さながらのトーンと演奏感を実現しています。

エフェクト・ブロック(Effect Blocks)

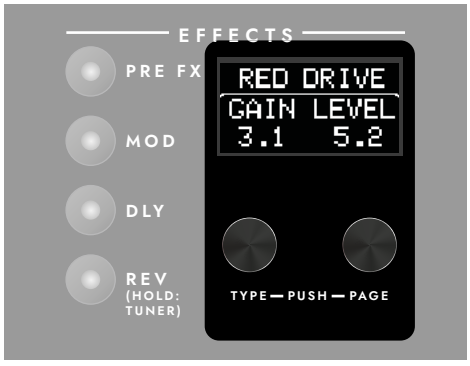


ID:X Floor には、Pre FX、Modulation、Delay、Reverb の4つの独立したエフェクト・ブロックが搭載されています。

各ブロックには 1 種類のエフェクトをロードすることができ、パラメータを調整したうえで、その設定全体を パッチの一部として保存することが可能です。

これにより、最大4つのエフェクトを同時に使用できます。

エフェクトのナビゲーションと選択



(ID:X FLOOR THREE)

TFX セクションには、Type と Page の2つのプッシュ式エンコーダーがあります。

どちらも回転させることでパラメータを調整できますが、押した際の役割が異なります

Type

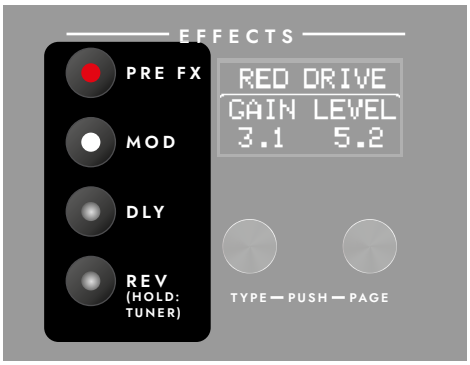
- **Type を押す:** エフェクト・タイプ一覧を表示
- **Type を回す:** エフェクト・タイプをスクロールし、試聴
- **再度 Type を押す:** パラメータ画面に戻る

Page

- **Page を押す:** 追加のエフェクト・パラメータを表示(対応している場合)

再度 Page を押す: 前のパラメータ画面に戻る

FX ブロックのフォーカス



エフェクトを有効にするには、各エフェクト・ブロックのスイッチ
（PRE FX、MOD、DLY、REV）を押します。
各エフェクト・ブロックには LED が搭載されており、状態を示します。

- **白:** エフェクトがオンで、現在編集対象（フォーカス中）→ パラメータが OLED 画面に表示されます
- **赤:** エフェクトはオンだが、現在はフォーカスされていません
- **消灯:** エフェクトはバイパスされています

注記: 同時にフォーカスできるブロックは 1つのみです。
現在フォーカスされているエフェクトをオフにすると、自動的に次に有効なブロックへフォーカスが移動します。この際、別の LED が赤から白に切り替わることがあります。

覚え方としては、白＝編集中、赤＝有効だが未フォーカス、消灯＝オフ です。

ディレイ・タイム表示

ディレイ・タイムは、BPM（beats per minute）または MS（ミリ秒）のいずれかで表示できます。

- **BPM:** 楽曲テンポに対するディレイ・タイムを表示 → フレーズを楽曲のビートに同期させたい場合に最適
- **MS:** リピート間の正確な時間を表示 → 感覚的、または耳で微調整したい場合に有効

これらの表示切り替えは、Architect の「Display BPM/MS」設定で行えます。
初期設定は BPM です。

TAP ボタン

TAP ボタンは、ディレイやモジュレーションなどの 時間系エフェクトのテンポ設定に使用します。

- TAP を一定のリズムで押すことでテンポを設定
- テンポは、現在フォーカスされているエフェクト・ブロック Delay または Modulation）に適用されます
- 各ブロックは 独立した TAP 値を保持するため、Delay と Modulation で異なるテンポ設定が可能です

タップ対象を変更したい場合は、先にそのエフェクト・ブロックをフォーカスしてください。

ディレイ・トレイル／リバーブ・テイル

初期設定では、ディレイやリバーブをオフにしても、残響（テイル）が自然に減衰しながら残る仕様になっています。これにより、エフェクトが不自然に途切れることはありません。この挙動は、Architect の「REV Tails」および「DLY Trails」設定で変更できます。

■ On（初期設定）：エフェクトをオフにしても残響が自然に減衰

■ Off：エフェクトをオフにした瞬間に音がカットされます

エフェクトのオン／オフ時の切り替わりを、よりクリーンにするか、シームレスにするかを調整する際に有効です。**エフェクト詳細** 以下に、搭載されているすべての エフェクト・タイプおよびパラメーター一覧を記載しています。

エクスプレッション・ペダル（EXPRESSION PEDAL）

内蔵エクスプレッション・ペダルにより、ボリューム、ワウ、アンプおよびエフェクト・パラメータを足元で操作することができます。
エクスプレッション・ペダルのオン／オフは、ペダルのトゥ側を踏み込み、トゥ・スイッチが作動するまで押すことで切り替わります。
EXP MODE（23） ボタンを押すことで、モードを切り替えます。
現在選択されているモードは、対応する LED により表示されます。

■ **VOL モード -** EXP（23）を長押しすることで、Pre（プリアンプ前） と Post（シグナルチェーン最終段） を切り替えます

■ 現在の設定は、ディスプレイ上に表示されます

■ **WAH モード -** EXP（23）を長押しすることで、Classic Wah と Modern Wah のタイプを切り替えます

■ 現在の設定は、ディスプレイ上に表示されます

CUSTOM 割り当て - エクスプレッション・ペダルを、対応する任意のパラメータへ割り当て、リアルタイムにコントロールすることができます。

■ CUSTOM モードで EXP（23）を長押しすると、割り当てモードに入ります（画面に案内が表示されます）

■ 次に、任意のパラメータを1つ動かしてください 最初に操作したコントロールが割り当て対象となります

■ エンコーダーを押してページ切り替えやエフェクト・タイプ変更を行っても、割り当ては行われません（割り当ては、パラメータを回した場合のみ）

■ 再割り当てを行う場合は、上記手順を再度実行してください

割り当て可能な項目 連続的に変化するアンプまたはエフェクトのパラメータのみ
（例：Reverb Mix、Delay Time、Amp Treble など）

割り当て不可の項目 - オン／オフや 3 段階切り替えなどのディスクリート操作、および すべての CabRig パラメータ

注記： エフェクトがすでにオンの状態でパラメータが保存されている場合、
エクスプレッション・ペダルは、保存時の値（リコールポイント）を超えるまで制御を引き継ぎません。
画面上のマーカー（目印）を確認し、それを超えた時点から、
エクスプレッション・ペダルによるコントロールが有効になります。

キャリブレーション

エクスプレッション・ペダルは、出荷時に工場でキャリブレーションされています。
再キャリブレーションが必要な場合は、Blackstar Architect ソフトウェアに接続し、Settings → Calibrate Expression を開き、画面の指示に従って操作してください。

パッチ(PATCHES)

ID:X Floor アンプ・モデラーでは、パッチの保存および呼び出しが可能です。
パッチとは、Voice、トーンコントロール、エフェクト、Response、CabRig 設定などを含む、現在のサウンド全体を記録したスナップショットです。
パッチを保存することで、そのサウンドを後から瞬時に呼び出すことができます。

MASTER(8)レベルはパッチには保存されません。
これは、異なるパッチを切り替えた際に、急激な音量変化が発生するのを防ぐためです。

本機では、最大99パッチを保存可能で、33バンク × 各バンク3チャンネルの構成となっています。

パッチの移動方法

ID:X Floor One / Two

1. PATCH UP / DOWN(25) フットスイッチを押してパッチを切り替えます いずれかを押し続けると、高速でスクロールします

ID:X FLOOR Three

1. CH1 + CH2 または CH2 + CH3(26) を同時押しして、バンクを上下に移動します
2. CH1 / CH2 / CH3(26) のいずれかを押し、現在のバンク内の 3 つのパッチから 1 つを選択します

注記: 初期設定では、バンクを切り替えても 同じチャンネル番号が維持されます。
この動作は、Architect の「Retain Patch On Bank Change」設定で変更可能です。

Off: Bank01 Ch3 → バンク切替 → Bank02 Ch1 を呼び出し

On: Bank01 Ch3 → バンク切替 → Bank02 Ch3 を呼び出し

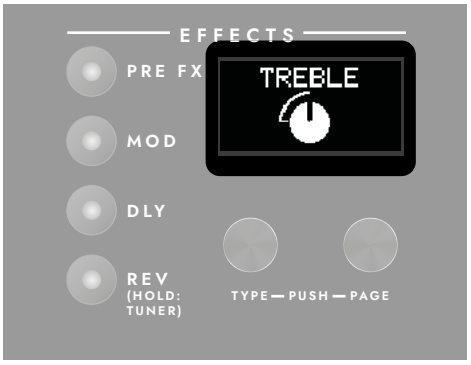
パッチの保存方法

現在のサウンドを保存するには、以下の手順を行ってください。

1. MANUAL(14)+ SHIFT(15) を同時に押します
2. パッチ LED が点滅し、保存先パッチの選択を促す表示が出ます
3. 必要に応じて、保存したいパッチ位置へ移動します
4. 再度 MANUAL(14)+ SHIFT(15) を同時に押して確定します
5. パッチが保存されます

注記: パッチ保存時には、現在のパッチ名も選択したスロットに保存されます。パッチ名の変更、並び替え、バックアップを素早く行いたい場合は、ID:X Floor を USB 接続し、Blackstar Architect ソフトウェアをご利用ください。

パッチ・リコールおよびリコール・ディスタンス・リング



パッチを読み込むと、アンプの各設定は保存されている値に即座に更新されますが、物理ノブの位置が必ずしもその値と一致しているとは限りません。
この問題を解消するため、ID:X Floor では、該当するパラメータの周囲に リコール・ディスタンス・リング を OLED 画面上に表示します。

このリングにより、急激な音量変化やトーンのジャンプを起こすことなく、ノブの物理位置をパッチに保存された値へ安全に合わせることができ、保存済みパッチを微調整する際に最適です。

- リコール・ディスタンス・リング上の 目盛（ティック） は、パッチに保存されている正確な値を示します
- ノブを回すと、リングがそのティックに向かって徐々に縮まります
- 調整がティックを通過した時点で、ノブの値が有効となり、音に反映されます
- ティックは、通過後も基準点として表示され続けます

この仕組みにより、調整操作は常にスムーズに行え、元のトーン設定位置を視覚的に把握しながら編集することが可能です。

マニュアル・モード（Manual Mode）

MANUAL（14） を押すと、マニュアル・モードに入ります。
このモードでは、アンプの各ノブの実際の位置がそのままサウンドに反映されます。
「見たまま＝聴こえたまま」の状態となるため、ゼロからトーンを作り込む場合や、新しいサウンドを作成する際の出発点として最適です。

マニュアル・モードからの保存

好みのサウンドが完成したら、通常のパッチと同様に保存することができます。

1. MANUAL（14）+ SHIFT（15） を同時に押します
2. パッチ LED が点滅し、保存先パッチの選択を促す表示が出ます
3. 必要に応じて、保存したいパッチ位置へ移動します
4. 再度 MANUAL（14）+ SHIFT（15） を同時に押して確定します
5. パッチが保存されます

これにより、現在の設定がパッチとして保存されます。
マニュアル・モードから保存したパッチは、「MANUAL MODE #」 に連番が付いた名称となります。
パッチ名の変更については、Blackstar Architect ソフトウェアをご利用ください。

注記： Gate（9）、Resonance（10）、Presence（11）、Response（12）、Expression Mode（23）などの一部のコントロールは、マニュアル・モードに入った際に初期設定値が適用されます。
これらの初期設定値は、Architect ソフトウェアにて変更可能です。

ファクトリー・リセット(Factory Reset)

本機は、工場出荷時のパッチおよび設定を、いつでも復元することができます。
リセットは、以下の 2通りの方法で実行可能です。

1. 本体の電源を入れる際に、MOD、DLY、REV の各スイッチを同時に押し続ける
2. 本機を USB 経由で Architect ソフトウェアに接続し、Settings → General →「Restore Patches and Settings」を選択する

リセット開始前に、画面上に カウントダウン表示が行われます。

フロントパネル操作によるリセットの場合、
カウントダウンが終了する前に MOD、DLY、REV のいずれかのスイッチを離すと、リセットはキャンセルされ、現在の設定は保持されます。

重要: この操作を行うと、ユーザーが保存したすべてのパッチおよび設定は上書きされ、消去されます。

チューナー(Tuner)

内蔵のクロマチック・チューナーにより、追加機材を使用することなく、常に正確なチューニングを行うことができます。
チューナーを起動するには、TAP(28)フットスイッチを長押ししてください。
画面がチューナー・モードに切り替わります。

使用方法

- 開放弦を1音ずつ鳴らします
- ディスプレイに、最も近い音名と、音程がシャープかフラットかが表示されます
- インジケーターが中央に合い、画面表示が白色になればチューニング完了です

チューナーの終了方法

チューナー・モード中に、いずれかのボタンやフットスイッチを押す、または任意のコントロールを操作すると、即座にチューナー・モードを終了します。

注記: 初期設定では、チューナー・モード中はすべてのオーディオ出力がミュートされます。
この設定は、Architect ソフトウェアにて変更可能です。

MIDI コントロール(MIDI Control)

ID:X Floor は、**MIDI プログラムチェンジ(PC)**および コントロールチェンジ(CC) メッセージに対応しており、パッチ切替やエフェクトのオン／オフなどを外部から操作することができます。
MIDI コントローラーは、リアパネルにある MIDI IN 端子へ接続してください。

プログラムチェンジ(PC)メッセージ

- PC 0 :マニュアル・モード
- PC 1 :バンク 01 チャンネル 1
- …
- PC 99 :バンク 33 チャンネル 3

注記: PC 100～127 のメッセージは無視されます。

コントロールチェンジ(CC)メッセージ

- Bank 01 Channel 1 = 01A
- Bank 01 Channel 2 = 01B
- Bank 01 Channel 3 = 01C

対応している MIDI CC メッセージおよびその値の一覧については、以下の MIDI 機能一覧表（MIDI Function Table）をご参照ください。

MIDI機能一覧表 - 第一部

カテゴリ	機能	CC#	値
Voice	Clean Warm	1	≥64 = オン
	Clean Bright	2	≥64 = オン
	Crunch	3	≥64 = オン
	Super Crunch	4	≥64 = オン
	OD1	5	≥64 = オン
	OD 2	6	≥64 = オン
	Ampton Twin	8	≥64 = オン
	Ampton ACE30	9	≥64 = オン
	Ampton Plexi	10	≥64 = オン
	Ampton 800	11	≥64 = オン
	Ampton 6L6	12	≥64 = オン
	Ampton Rec	13	≥64 = オン
	Acoustic 1	14	≥64 = オン
	Acoustic 2	15	≥64 = オン
	Acoustic Sim	16	≥64 = オン
	Bass Classic	17	≥64 = オン
	Bass Modern	18	≥64 = オン
	Bass Flat	19	≥64 = オン
Amp	Gain	21	0–127
	Volume	22	0–127
	Bass	23	0–127
	Middle	24	0–127
	Treble	25	0–127
	ISF	26	0–127
Response	Res	27	0–127
	Pres	28	0–127
	EL84	29	≥64 = オン
	EL34	30	≥64 = オン
	6L6	31	≥64 = オン
出力	Master	7	0–127
PRE FX	オン／オフ	40	0–63 = オフ 64–127 = オン
	タイプ	49	0–127
	Param 1	41	0–127
	Param 2	42	0–127
	Param 3	43	0–127
	Param 4	44	0–127

Midi Function Table - Part Two

カテゴリ	機能	CC#	値
MOD	オン／オフ	50	0–63 = オフ 64–127 = オン
	タイプ	59	0–127
	Param 1	51	0–127
	Param 2	52	0–127
	Param 3	53	0–127
	Param 4	54	0–127
DLY	オン／オフ	70	0–63 = オフ 64–127 = オン
	タイプ	79	0–127
	Param 1	71	0–127
	Param 2	72	0–127
	Param 3	73	0–127
	Param 4	74	0–127
REV	オン／オフ	80	0–63 = オフ 64–127 = オン
	タイプ	89	0–127
	Param 1	81	0–127
	Param 2	82	0–127
	Param 3	83	0–127
	Param 4	84	0–127
GATE	オン／オフ	90	0–63 = オフ 64–127 = オン
	Gate (制御)	91	0–127
OTHER	すべての FX オン/オフ 現在有効になっているエフェクトのみ	100	0–63 = オフ 64–127 = オン
	REV TAILS オン／オフ	101	0–63 = オフ 64–127 = オン
	DELAY TAILS オン／オフ	102	0–63 = オフ 64–127 = オン
	Tap DLY	103	127 = 起動 Tap
	Tap MOD	104	127 = 起動 Tap
	チューナー	105	0–63 = 閉 64–127 = 開
	パッチ変更	32	0–99 0=Manual Mode 1=Bank01Ch1 ... 99=Bank33Ch3
CabRig	CabRig GLOBAL Mode	111	≥64 = オン
	CabRig PATCH Mode	112	≥64 = オン

Effect Descriptions

Pre FX

効果名	効果の説明	パラメータ	パラメーター説明
VALVE BST	ハーモニー豊かな倍音で知られるBlackstar Dept.10 Valve Boostがベース。	BOOST	クリーンブーストのレベルをコントロールし、繊細なバルブウォームトーンにします。
		TONE	エフェクトの明るさや暗さを調整。
RED DRIVE	Blackstar Dept.10 Dual Driveのクランチ・チャンネルがベース。	GAIN	オーバードライブまたはディストーションの量。
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
		TONE	エフェクトの明暗を調整。
TS DRIVE	多くのクラシック・レコーディングで聴かれる、クラシックなグリーン・ボックスがベース。	DRIVE	オーバードライブまたはディストーションの量。
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
		TONE	エフェクトの明暗を調整します。
K DRIVE	最も有名で人気のあるドライブペダルがベースになっています。	GAIN	オーバードライブまたはディストーションの量。
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
		TREBLE	エフェクトの明暗を調整します。
BLUE DRIVE	ンパクトなブルースオーバードライブペダルがベース。	GAIN	オーバードライブまたはディストーションの量。
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
		TONE	エフェクトの明暗を形作る。
YEL DRIVE	クラシックなイエロー・オーバードライブがベース。	DRIVE	オーバードライブまたはディストーションの量。
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
		TONE	エフェクトの明暗を形作る。
OG DIST	1970年代のオリジナルのオレンジ・ディストーション・ペダルがベース。	DIST	オーバードライブまたはディストーションの量。
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
		TONE	エフェクトの明暗を形作る。
RODENT	グランジ・エフェクターに多大な影響を与えた90年代のグランジ・ムーブメントに大きな影響を与えた、クラシックなディストーション	DIST	オーバードライブまたはディストーションの量。
		LEVEL	エフェクトの全体的な出力レベル。
		TONE	エフェクトの明るさや暗さを調整します。
PIE FUZZ	クラシックな70年代のビッグ・ボックス・ファズがベース。	FUZZ	ファズとサチュレーションの量
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
		TONE	エフェクトの明暗を形作る。
SMILE FUZZ	大きな丸いブルーファズがベース。	FUZZ	ファズとサチュレーションの量
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
COMPRESSOR	シンプルで効果的。	SUSTAIN	コンプレッションの強さと音符の保持時間を調整。
RED SQUASH	悪名高い2ノブのレッド・コンプレッサーをベースにしており、リードのサスティーンやリズミカルなファンク・サウンドに最適。	AMT	コンプレッションの強さと音符の保持時間を調整。
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
ENV FILTER	リアルタイムで演奏に反応するアダプティブ・フィルター。	GAIN	入力感度を設定し、さまざまなギター・ピックアップに対応。
		PEAK	ピーク周波数をコントロール。
		TYPE	フィルターの形状をローパス、バンドパス、ハイパスから変更します。
AUTO WAH	演奏にリアルタイムで反応する適応型オートワウ。	RANGE	フィルターのスイープ幅を設定します。
		SENS	ワウが演奏の強度に対してどのように反応するかを設定します。異なるギターピックアップに合わせて調整してください。
		Q	フィルターの鋭さを設定します。
OG FUZZ	史上初のファズ・ペダルを基に開発。『Satisfaction』をはじめ、数々のヒット曲で使用された。	FUZZ	ファズとサチュレーションの量。
		LEVEL	エフェクトの全体的な出力レベル。

Effect Descriptions

Mod

効果名	効果の説明	パラメータ	パラメーター説明
CHORUS	コンパクトな三角波アナログ コーラス・ペダル。	RATE	モジュレーションやエフェクトの動作速度を設定。
		DEPTH	エフェクトの強さをコントロールします。
		WIDE	ステレオの幅や広がりをコントロールします。
FLANGER	St. James プラグインのフランジャー (Flanger)。	SPEED	モジュレーションまたはエフェクトの移動速度を設定する。
		DEPTH	エフェクトの強さをコントロールする。
		WIDTH	ステレオの広がりや範囲を拡大します。
		RANGE	ディレイタイムモジュレーションの範囲を調整。
ECLT FLNGR	70年代の伝説的なフランジャーがベース。	RATE	モジュレーションやエフェクトの移動速度を設定します。
		RANGE	ディレイタイム・モジュレーションの範囲を調整します。
		COLOR	エフェクトの強さをコントロールします。
PHASER	St. James プラグインのPhaser。	SPEED	モジュレーションまたはエフェクトの移動速度を設定します。
		DEPTH	エフェクトの強さを調節します。
		PHASER	ステレオの広がりや範囲を拡大します。
		RES	エフェクトのフィードバック/レゾナンスを調整します。
VINT PHASE	クラシックなアナログフェイズシフターがベース。	SPEED	モジュレーションやエフェクトの移動速度を設定します。
VIBE	60年代の光電池式フェイズ/バイブ回路がベース。	SPEED	モジュレーションやエフェクトの動作スピードを設定します。
		DEPTH	エフェクトの強さをコントロールします。
		LEVEL	エフェクト全体の出力レベル。
		TYPE	ChrousまたはVibratoタイプを選択します。
BIAS TREM	クラシックなバイアス・シフト・アンプ・トレモロをベースとし、鋭くボリュームを膨らませます。 ボリュームのうねり。	SPEED	モジュレーションのレートを設定します。
		DEPTH	エフェクトの強さをコントロールします。
		WIDTH	ステレオの広がりや範囲を拡大します。
HARM TREM	USA「ブラウン」時代のアンプ・フェイズ・シフト・トレモロがベース。	SPEED	モジュレーションのレートを設定します。
		DEPTH	エフェクトの強さをコントロールします。
		XOVER	ハイ/ロー・モジュレーションのクロスオーバー周波数を調整します。
		WIDE	ステレオの広がりや範囲を拡大します。
OPTO TREM	クラシックなオプトアンプのトレモロをベースにした、滑らかな正弦波のようなボリュームのうねり。	SPEED	モジュレーションのレートを設定します。
		DEPTH	エフェクトの強さをコントロールします。
		WIDTH	ステレオの広がりや範囲を拡大します。
VIBRATO	日本の有名なアナログ・ヴィブラート・ペダルをベースにしています。	SPEED	モジュレーションのレートを設定します。
		DEPTH	エフェクトの強さをコントロールします。

Effect Descriptions

Dly

効果名	効果の説明	パラメータ	パラメーター説明
ANALOG DLY	アナログ・ジャパニーズ・ディレイをベースに、モジュレーション回路を追加。	MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		FDBK	リピート数やフィードバックをコントロール。
		TIME	ディレイタイムを調整します。
		TONE	エフェクトの明暗を調整。
DIGI DELAY	クラシックなホワイト・デジタル・ディレイ・ペダルをベースにしています。	MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		FDBK	リピートの回数やフィードバックをコントロールします。
		TIME	ディレイタイムを調整します。
		PONG	パンは左右の出力間で繰り返される。
TAPE ECHO	ヴィンテージ・テープ・エコーをベースにしており、自然に変調する特徴的なリピートに最適。	MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		FDBK	リピートの回数やフィードバックをコントロールします。
		TIME	ディレイタイムを調整します。
		AGE	テープエイジを'New'と'Old'の間で変更し、異なるサウンド特性を実現。
MULTI TAP DLY	別世界のグリーン・エコー・ディレイがベース。	MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		FDBK	リピートやフィードバックの回数をコントロール。
		TIME	ディレイ・タイムの調整
		PONG	パンは左右の出力間で繰り返される。
SHIMMR DLY	ハイ・オクターブがきらめくピッチシフト・ディレイ。	MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		FDBK	リピート数やフィードバックをコントロール。
		TIME	ディレイタイムを調整します。
		SHIM	ハイオクターブのシマー量を増やす。

Rev

Effect Name	Effect Description	Paramater	Parameter Description
HALL	クラシックなコンサートホールに基づく。	SIZE	空間の大きさと減衰の長さを増加させる。
		MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		TONE	エフェクトの明るさや暗さを調整します。
		WIDE	ステレオの広がりや空間感を制御します。
PLATE	ヴィンテージの電気機械式残響板をベースにしています。	SIZE	空間の大きさと減衰の長さを増加させる。
		MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		TONE	エフェクトの明暗を調整。
		WIDE	ステレオの広がりや空間感を制御します。
SPRING	1960年代初期のバルブ・リバーブ・タンクがベース。	DECAY	空間の大きさと減衰の長さを増加させる。
		MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		TONE	エフェクトの明暗を調整します。
		DRIP	リバーブのテールに含まれる「ドリップ」やスプリングのトランジェントの量を調整します。 リバーブのテール
CHAMBER	キャピトル・スタジオ LAチャンバー。	SIZE	空間の大きさと減衰の長さを増加させます。
		MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		TONE	エフェクトの明暗を形作る。
		WIDE	ステレオの広がりや空間感を制御します。
CATHEDRAL	歴史的な大聖堂の雰囲気に基づく。	SIZE	空間の大きさと減衰の長さを増加させる。
		MIX	ドライ信号とエフェクト信号のバランス。
		TONE	エフェクトの明暗を調整します。
		WIDE	ステレオの広がりや空間感を制御します。

ID:X FLOOR ONE

重量(kg): 1.33 kg

寸法(mm): 215 x 68 x 155

ID:X FLOOR TWO

重量(kg): 2.07 kg

寸法(mm): 315 x 68 x 173

ID:X FLOOR THREE

重量(kg): 2.88 kg

寸法(mm): 397 x 68 x 195

256401M-VB-2 08/26

Blackstar Amplification Ltd, Beckett House, 14 Billing Road, Northampton, NN1 5AW, UK

For the latest information go to: www.blackstaramps.com

Whilst the information contained herein is correct at the time of publication, due to our policy of constant improvement and development, Blackstar Amplification Ltd reserves the right to alter specifications without prior notice.